

健康な食生活 アプリが支援

久留米市内で健康に配慮したメニューを提供している飲食店などを紹介するウェブアプリ「くるめ健康づくり応援店アプリ」を、久留米工業大(同市上津町)が開発した。店の位置や営業時間が一目で分かるほか、日々の食事や体重を管理できる機能も付いている。

久工大開発

アプリは、食を通じた健康増進に取り組む店を「応援店」として登録する事業を進める市健康推進課が同大に開発を依頼したもので、工学部の山田貴裕准教授(52)とゼミの学生5人が作成した。

アプリでは登録店として



飲食店紹介、体重管理機能も

飲食店のほか、販売する弁当や惣菜などの栄養成分を表示しているコンビニやスーパーなど計約180店舗を掲載。店の写真付きで営業時間やヘルシーメニューなどを紹介し、位置は地図で確認できる。食事を記録する機能もあり、食べたものを「食事の記録」のページにある一覧表から選択すると、カロリーや脂質量が表示される。食事を毎回記録することで、摂取している栄養素の偏りなどが分かる仕組みになっている。

アプリはスマートフォンなどの携帯端末で、市のホームページにある2次元コードを読み込むことで利用できる。登録店情報の更新など運用に携わる同学部4年の相浦弘貴さん(22)は「若い人が健康に気を使うきっかけになれば」と話している。(長浜幸治)

▲約180店舗が掲載されている「くるめ健康づくり応援店アプリ」